にじのはし幼稚園
園だより

令　和　４年　７月　号
港区立にじのはし幼稚園
園　長　　石 川 典 子

もうすぐ七夕です。七夕は日本古来の「棚機つ女（たなばたつめ）」の風習と、中国古来の織姫彦星の「星伝説」、手芸や書の上達を願う「乞功奠（きっこうでん）」の行事が結びついて今の形になったそうです。「棚機つ女」とは、水辺で神様のために衣を織る女性のことで、先祖の霊を祀る盆行事の一環（７月１５日がお盆）として行われていたそうです。

幼稚園では「七夕」の由来を子どもたちにわかりやすく話し、学年ごとに装飾を作りました。年少組は子どもたちに馴染みのある身近な野菜の塗り絵や、星型の画用紙に紙テープを付け流れ星作りを楽しみました。年中組は△つなぎや画用紙で作る半立体のスイカを丁寧に作りました。年長組は貝殻つなぎや、網、提灯など技術や根気を必要とする飾り作りに挑戦しました。どの学年の子どもたちも、日本の伝統文化である「七夕」の装飾を作ることに期待感をもち、様々に考えながら、指先を使い、工夫して作り、出来上がった作品や作り上げたことに満足していました。

にじのはし幼稚園は、オリンピック・パラリンピック教育の重点「日本人としての自覚と誇り」を育む教育を継続して行っています。

日本の伝統・文化や最新の技術などを学び、世界に発信する力を育てると共に、
日本人の規範意識や公共の精神等を学ぶことを通じ、
子どもたちに日本人としての自覚と誇りを身に付けさせます。

本園は、子どもたちが日本の伝統・文化に触れることができるように、年間を通して計画的に教育活動を行っています。様々な行事においては、必ず由来を伝えています。行事の由来を知らせることで、子どもたちが、次第にそのいわれやそこに込められている人々の願いなどにも興味や関心をもつことにつながります。日本が長い歴史の中で育んできた伝統や文化の豊かさに気付いてほしいと願います。日本の文化だけではなく、異なる文化にも触れながら幼児の体験を豊かにし、社会とのつながりの意識や国際理解の意識の芽生えなどを育んでいきます。

さて、昔、７月７日の「７」にちなんで、１日に７回水浴びをして髪を洗う風習がありました。お盆行事の始まりに身体を清めるという意味があったようです。そこから「七夕に７回同じことをすると幸運がくる」という七夕の幸せなおまじないができたそうです。

７月７日にお子さんと一緒に同じ歌を７回歌ったり、お子さんをぎゅっと７回抱きしめたり…、保護者の方に伝えたいおまじないです。